

らくらく コース

(約2時間40分～3時間
のモデルコース)

江ノ電 由比ヶ浜駅

▼ 徒歩7分

鎌倉文学館

【所要時間：約30～60分】

鎌倉文学館について

鎌倉文学館では古典、明治から現代まで鎌倉ゆかりの文学者とその作品を紹介しています。小説家の三島由紀夫は小説「春の雪」に登場する別荘のモデルとして書きました。また、庭園には、ゆかりの文学者の歌や俳句が刻まれた外灯碑や記念碑があります。

【ゆかりの文学】

三島由紀夫「春の雪」

【庭園の外灯碑、記念碑】

万葉集巻十四にある鎌倉の歌、源実朝の歌、正岡子規の歌、松尾芭蕉の俳句、夏目漱石の俳句、吉井勇の句、星野立子の歌、松本たかしの俳句、高浜虚子の俳句、久米正雄の俳句、種時く人記念碑

高德院について

中世に書かれた「東関紀行」に、造営中の木造の大仏を仰いで感動したという記述があります。歌人の与謝野晶子は明治37年、雑誌「明星」に鎌倉の大仏を“美男”と詠んだ歌を発表し、当時の人々を驚かせました。高德院の境内には晶子自筆の歌碑のほか4基の文学碑があります。

【ゆかりの文学】

古典文学「東関紀行」、与謝野晶子歌碑、星野立子句碑、金子薫園歌碑、飯室謙斎句碑

高德院(大仏)

【所要時間：約30分】



▼ 徒歩5分

長谷寺

【所要時間：約60分】



▼ 徒歩5分

江ノ電 長谷駅

長谷寺について

長谷寺には高山樗牛や久米正雄の碑があります。また、高浜虚子の「永き日のわれらが為めの観世音」という句が刻まれた観音像があります。

【ゆかりの文学】

高山樗牛記念碑、高浜虚子句碑、久米正雄胸像